

越中一宮

高瀬神社社報

写真：大門川土手桜並木より奥宮(牛岳)を望む

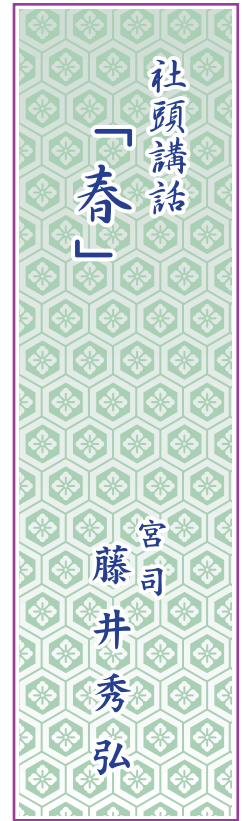
第6号

平成17年4月1日

越中高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部写真館 南部 栄氏



「春はどこから来るのか。」まったく平凡な質問ですが何だか尋ねてみたい気がします。春と云うのはそれだけ森羅万象すべてのものに早く訪れて来るように待ち望まれる季節なのですがなぜでしょうか。北国の人々は雪どけを待ち、地下で冬眠するものは目覚める。木々は芽吹き、草原は花一面に咲きほこる。だから春は待たれるのかもしれないが、私たち人間には春を待ち生活に活気が満ちて生きる喜び、生かされる喜びを春は運んで来てくれるからです。

社報第六号になります。春を題材に少々筆を走らすことにします。

日本人は食後、食間、機会のあるごとに口にするのが緑茶ですね。私は伊勢の神宮、神宮司庁、神宮崇敬会等の会議によく出かけますが、滋賀県と三重県の県境に土山町と云う町があります。里山の斜面全体が茶畑です。春四月頃に通りますと茶摘みが盛りになされている風景を見ます。新緑のお茶の若葉が太陽の光で輝いています。

茶は、ツバキ科の常緑低木で、中国南部の雲南省の霧の多い山岳地方が原産地であるとされています。茶が飲まれはじめたのは中国の唐の時代(六一八―六九〇)の頃で唐代の中期、陸羽と云人によって茶の専門書に「茶

経」によって世間の人々が茶の味を知ったようです。ですから陸羽の像をお茶屋さんの店頭に飾りお茶の神様として尊敬されたようです。

云う書籍に書き全国に広げたいようです。

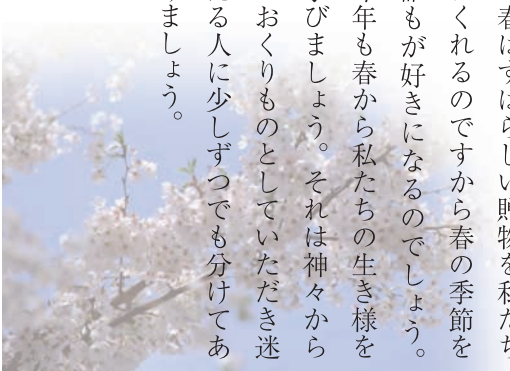
現在お茶は体を健康にすると思われたいますが昔からお茶は健康上すばらしい効用を持っていると説明されたようです。

我が国では和名抄と云う書籍に「茶」は茶のことではなく、次のような「苦茶」のことなのだとしていいます。ですから古来日本で茶と呼ばれたものは「オホツチと云うもので現在のノゲシだとされているようです。ノゲシは別名「ケシアザミ」とも呼ばれキク科の越年生の植物で草たけ一メートル程になり若葉や茎は食用になるそうです。

以上の事を知って茶畑を見ますと、唯、春の光を受けて輝いているのは各種の成分を太陽の光から成分を戴いているのですから、茶畑はきれいに見えるのだと思います。

我が国へ中国からお茶が入ってきたのは、一一九一年鎌倉幕府初代將軍源頼朝が征夷大將軍になる前年なのです。中国(宋の時代)に宋に渡った禪僧柔西(臨濟宗の開祖)で宋から茶の種と茶を飲む法を「喫茶養生記」と

春はすばらしい贈物を私たちにくれるのですから春の季節を誰もが好きになるのでしょうか。今年も春から私たちの生き様を学びましょう。それは神々からのおくりものとしていただき迷える人に少しずつでも分けてあげましょう。



祭事暦

節分祭齋行

去る二月三日午後三時より「節分祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上、巫女による神楽「剣の舞」の奉奏につづき「豆まき神事」が行われ、神職・巫女により「福は内、鬼は外」の大きな掛け声のもと大勢の参列者に福豆がまかれました。

また、当日の午前中には氏子

地内にある高瀬保育園へ神職・巫女が出向き、園児とともに「豆まき」をしました。



鎮火祭齋行

去る三月八日、関係者約三十名が参列し、鎮火祭が斎行されました。

祭典の後、境内特設の齋場で「忌火」により庭火が焚かれ、井波庄川消防署長以下消防団員が鎮火具（水・砂・川菜）で鎮火の儀を奉仕しました。本年も火災

が無いように

にと祈念しました。



藤井宮司

神職身分特級拝受

去る二月二十五日、神社本庁において神職身分特級の授与式が行われ、神社本庁久邇邦昭総理より級位証が授与されました。

大神様の御加護と氏子崇敬者各位の御支援によることと、厚く御礼申し上げます。



献穀田のこと

本年も井波地域中核農業士協議会（金田久志会長）のご協力のもと「高瀬神社献穀田」が奉耕されることとなりました。

協議会々員の岩倉和弘氏により南砺市高瀬の水田で耕作されることとなり、去る三月三十日に種初めの清祓式が行われました。

尚、五月下旬に「お田植え祭」九月中旬に「抜穂祭」が斎行される予定となっております。

本年奉耕者

岩倉和弘氏

井波町高瀬（大宮司）在住



今年、高瀬神社の献穀田を奉耕することになり、大変身の引き締まる思いです。伝統ある高瀬神社の献穀田の名に恥じないよう、一生懸命ご奉仕したいと思っておりますので、宜しくお願いします。

賑わった初詣

本年の初詣三日は、約二十万人（一日十三万人・二日四万人・三日三万人）の参拝者で賑わいました。

元日の日中は時折雪がちらつきましたが、二日・三日は好天となり、例年並の人出となりました。

巫女に「あけましておめでとうございます」とさわやかな声で迎



えられた参拝者は更なる御加護がいただけるよう御守や縁起物を受けていました。



尚、三日日は例年にならい氏子・近隣町会・功霊殿奉斎会等の皆様にご奉仕いただき、事故もなく初詣を終えることが出来ました。

一月三日、「福野糸瓜句会」（梅島くにを会長）による初詣句会が開催されました。奉納句は以下の通りです。

- ・ 金銀の鈴ひびき合ふ破魔矢かな
 - ・ 初詣蕨の紋の輝きて
 - ・ 垂直の蔓にも雪の太りけり
 - ・ 福菓と踏み人波の通り過ぐ
 - ・ 御手洗のふつふつと湧き初詣
 - ・ 神杉の雪のしづることも賀に
 - ・ 鏡花を挿して梁筆やげり
 - ・ 神木のみどりを揺らす初詣
 - ・ 美しくあれと寿ぐ初詣
 - ・ ハ乙女山の初東風わたる遺跡かな
 - ・ 閑運のきざし明るし初みくじ
 - ・ 牛岳に湧く雲白し初御空
 - ・ 初手水龍の口よりしかと受く
 - ・ 階の敷葉乱れたる三日
 - ・ 大前に抑へきれざる咳こぼす
- 梅島くにと
瀬戸 十字
若土 白羊
富川 敬三
細川 圭六
長谷 登世
野原すみ子
森松 和子
山下しのぶ
藤井 乃婦
水野すみこ
竹部 時夫
直井 春枝
森田 桂子
窪田富美子

新春ブライダルフェア

平成十七年一月一日午前零時から同三時、午前九時から午後五時まで高瀬神社協力会主催の「新春ブライダルフェア」が開催されました。

みぞれ模様の中ではありませんでしたが、初詣にお越しの方々に気軽に入場していただけるよう、入口にパステルカラーのバルーンアーチを設け、柔らかな雰囲気を作ったことも来場者数増加につながり、約二百五十名と多数で来場下さいました。

ウエディングドレスの試着とともに昨年大好評だったネイルアートコーナーを今年も設け、品良く、可愛らしく、且つ華やかさを併せ持ったデザインを選び、指先まで美しく幸せを表現するご提案を致しました。指輪交換やケーキカット等花嫁の指先はゲストから注目を一身に集める部分でもあり、特別な日を彩るウエディングネイルは今や定番となっております。

「孫娘はまだ学生ですが、是非、来年は一緒に来たいと思います。」と言われたご夫人や、「ドレスが着られてこんなに幸せな初詣は無いと思いました」と、大変喜んで頂いた方「美容師を目指しているので、とて



も参考になりました」と言われる方など様々なご意見を頂きました。

また、来場者の記念として、緑り返し使用可能な、ピンクのハート型のウォーマー（懐炉）をお配りしました。

ブライダルフェアと言うと、そろそろ挙式を考えているお二人以外はなかなか参加できない雰囲気が多分にあります。このフェアは、出来るだけ幅広い年齢層の方に楽しんで頂くことを目的とし、毎年開催しております。もちろん挙式を考えておられる方々のための『専用ルーム』を設け、専属スタッフによるお見積りやご婚約相談をお受けし、当日数組の御成約を頂きました。

（婚約担当・黒田三津子記）

消防訓練

去る一月二十三日午



前八時三〇分より、「第五十一回文化財防火デー」にあわせ、境内にて消防訓練が行われました。

本訓練の目的は、貴重な財産である文化財を火災や震災等の災害から守るため実施されたもので、当日は井波庄川消防署・南砺市消防団井波方面団の指導のもと、職員及び協力会会員が参集殿配膳室より出火を想定し、通報訓練・屋内消火栓を使っての初期消火訓練・避難誘導訓練を行いました。

慣れないことではありませんが参加者は真剣な面持ちで訓練に望んでおりました。

また、消防訓練終了後、消火器取り扱い訓練を行いました。



奉納

昨年の十二月二十四日、南砺市立井波高瀬保育園の園児五名が先生に引率され社務所を訪問。園児による手作りの「平成十七年カレンダー」が届けられました。園児たちは「どうぞ使ってください」と元気な声で巫女に手渡しました。



辞令

○新採用

南部 有希

見習巫女を命ずる

平成十七年四月一日

参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成十六年九月～平成十七年二月)

「九月」

一日 國學院大學教授 岡田莊司

以下十三名

二日

功靈殿奉斎会役員会

九日

富山県神道青年会研修会

十日

井波・福野地区遺族会(清掃奉仕)

十一日

氏子清掃奉仕(村総出)

十二日

日枝神社 宮司 平尾旨明

高瀬神社崇敬会関東支部会員

二十日

第四十二回奉納剣道大会(奉告祭)

二十一日

井波地区交通安全協会

二十二日

立正佼成会(清掃奉仕)

二十四日

(株)ゴールドウインググループ

リーダークラス研修会

「十月」

六日

彌彦神社敬神旅行会

宮司代務者 永田忠興

以下九十四名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

「十一月」

七日

伝統工芸高岡銅器振興協同組合

三十一名

「十二月」

十一日

水分神社正遷座祭

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

二十日

神社庁東西砺波支部

「一月」

一日

南砺市助役 清都邦夫

井波・庄川消防所長 坂下克己

砺波市消防団庄川町方面団

二日

成和建設(株)

成建運輸(株)

高岡石産(株)

成和興産(株)

三日

(株)ゴールドウイン 会長 西田東作

(株)越路ガーデン

福野糸瓜匂会

(株)全ト運輸

(有)才川造園土木

四日

笹嶋工業(株)

(株)北陸ライナー

川田建設(株)

大和トランスポート(株)

第一産業(株)

イルカ交通(株)

高陵タクシー(株)

株)かんでんエンジニアリング

財団法人北陸電気保安協会

(株)北陸銀行福野支店

(株)北陸銀行庄川支店

川田工業(株)

(株)橋梁メンテナンス

今井重機建設(株)

北陸電気工事(株)高岡支店福野営業所

ユーシン建設(株)

丸一工業

(株)環境総合テクノス庄川

庄川興業(株)

北陸中央病院

(有)昭信機工

若林遺族会

丸三工業(株)

金沢信用金庫砺波支店

金沢信用金庫福光支店

米原商事(株)

(有)マツイコーポレーション

巨京運輸(有)

(株)北陸銀行井波支店

砺波信用金庫

(株)損害保険ジャパン

(株)北陸銀行福光支店

小森工業(株)

(株)富山第一銀行井波支店

(株)御菓蔵

五日

日本通運(株)砺波支店

第一交易(株)

(株)藤井組

野原工業(株)

池田工業(株)

森田建設(株)

友工商事(株)富山営業所

梅本建設工業(株)

松本建設(株)(砺波市)

陸上自衛隊富山駐屯地

北陸電力(株)となみ野営業所

(有)ファームズエンジニア福光

日の出屋製菓産業(株)

日の出屋製菓産業(株)本社工場

日の出屋製菓産業(株)柿山本店工場

山ワ建設工業(株)

(株)ピックモーター石崎

(有)清水重建

(株)日本ビルサービス

日ビル商事(株)

城西運輸機工(株)福野出張所

(株)齊藤組

サンエー建工(株)

たち建設(株)

たち建設運輸(株)

(株)セキ北陸砺波営業所

木村産業(株)

(株)得能組

佐藤道路(株)砺波営業所

ラ・セーヌトナミインター店

石黒自動車工業(株)

(株)横川組

第一レנטタル(株)
 (株)長田組
 宗景造園
 (株)松本土建
 北陸プレハブ輸送(株)
 吉井工業(株)
 (株)松本建機
 (株)神能工務店
 (有)アイテック
 (株)高清組
 (有)喜八食品
 明治薬研(株)
 (株)沖田組
 井波ダイケンプロダクツ(株)
 米原商事(株)整備センター 砺波工場
 第一交易(株)安全互助会ハウス部
 (株)南砺工業所
 得能建設工業(株)
 北陸プレハブ(株)
 第一編物(株)
 (株)エイゼット
 上田工業(株)
 (有)上田建設運輸
 片山工業(株)
 北陸電力(株)利賀営業分所
 (株)北陸電力リビングサービス
 丸七商事(株)
 (株)俵組
 第一メンテナンクス(株)
 (有)第一ワークス
 (有)葭田組
 共栄土石工業(株)
 大輝設備

六日

セندگان電子(株)
 タカハタ工業(株)
 (株)タカギセイコー 福光工場
 (株)松本建設(庄川町)
 (株)神下組
 (有)さつき堂
 日本たばこ産業(株)高岡営業所
 (株)富山クボタ井波営業所
 (株)富山クボタ小矢部営業所
 (株)富山クボタ南砺営業所
 (株)富山クボタ高岡南営業所
 (株)富山クボタ戸出営業所
 井波テキスタイル(株)
 ほくざんローンプラザとなみ野
 ふるさと配管
 富山松下電器(株)
 松下環境空調エンジニアリング(株)
 (株)福光石工
 (株)寺田
 三栄自動車工業(株)
 (株)砂土居造園

七日

協立アルミ(株)本社工場
 協立アルミ(株)井口工場
 砺波重機(株)
 (株)ホンダロック
 市堰建工(株)
 (有)森田電気商会
 (株)ディエスケイ
 沢田電機
 福野運送(株)
 (株)スリーティ
 福光運輸(株)

日本通運(株)砺波支店

笹谷工業(株)
 北陸ダイケン(株)
 大當興業(株)
 (株)エヌ・エス・ジー北陸
 (株)オーテクト
 戸出運輸(株)
 井波町遺族会
 トナミ運輸(株)砺波支店
 辻建設(株)南砺支店
 辻建設(株)災害防止協会南砺支部
 中山工業(株)
 津田工業(株)福光工場
 日枝神社 宮司 平尾旨明
 (株)日平トヤマ富山工場
 日平トヤマ労働組合
 トヤマ機工(株)
 (株)高桑工務店
 (株)高桑工務店 桑栄会
 越中井波八乙女風神太鼓
 射水神社 宮司 松本正昭
 富山縣護国神社 宮司 梅野守雄
 雄山神社前立社壇 宮司 佐伯勉
 ビービーハウジング(株)
 石島窯業(株)
 石島(株)
 (株)フアブリカトヤマ
 藤沢電工(株)富山工場

十五日

(有)安念土石運輸
 (有)安念土石工業

十六日

高宝会(謡初め)
 三五教富山主会

十八日

伏木神社 宮司 尾崎定輝

十八日

高田組(株)

二十日

埼玉県神社庁児玉支部敬神旅行会

二十二日

神社庁東西砺波支部

二十三日

立正佼成会東西砺波支部

二十四日

石黒建設(株)北陸支社

富山石黒会

「二月」

一日

富山県電気工事工業組合南砺支部

五日

熱実山参拝団

二十日

神社庁東西砺波支部

※一月一～三日の初詣団体参拝につきましては予約参拝をされました方を記載させていただきました。

御案内

人形感謝祭

古くなった日本人形やぬいぐるみなどに感謝の意を捧げ、お祓いをした後、お焚き上げをする「第六回人形感謝祭」は次の通り斎行いたします。



日時 七月十八日（海の日）
午前十時より

受付 午前九時より十時まで
※当日のみ受付

初穂料等、詳細は社務所へおたずね下さい。

「第五回人形展〜一期一会〜」

日時 七月十六日（土）

十八日（海の日）

場所 参集殿「平成殿」

※入場無料

高瀬ゆかりの地を訪ねて

「大学寮勸学院田跡」

南砺市高瀬は「大宮司」「神子畑」「勸学院」の三つの地区からなっており、現在もその小字が残っております。

平安時代の「延喜大学式」に云う越中国砺波郡の墾田地拾八町四反式百歩とは高瀬勸学院の地とされる。この地一帯は足利時代東大寺八幡宮領として、各地に点在する同寺領荘園中最も有望の地とされていた。神仏習合の時代を経て当神社鎮座の地にこの勸学田がおかれたとすれ

ば誠に深い由縁があったと考えられます。

大同年間（八〇六年―八一〇年）にはこの地に多くの寺があり三〇〇余坊が存在したと伝えられている。また、神宮寺として真言宗深法寺があり、勸学院僧を祀った塚には三葉の松が生えたことから「勸学院塚の三鈿松」と呼ぶようになりました。

現在は、南砺市指定文化財に指定されており、境内から北方へ五〇〇メートルほどの国道沿いに標柱がたち、当時の面影を偲ぶことができます。



「訃報」

元権宮司 齊藤宣良氏

平成十七年一月二十五日逝去

昭和八年より、平成十年までの長きにわたり、勤務されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

月日の経つのは早いものです。平成十七年の季節は早くも春となりました。

四月二十四日に植樹祭を斎行することとなり、桧の苗木など百二十本が植えられます。

その成長と共に皆様の益々のご隆昌と弥栄をお祈り申し上げます。

ブライダルフェア開催 7月10日(日)

詳しいお問い合わせは、社務所（担当 黒田）までお気軽にお尋ね下さい

NOVIA de SALON みに



—大切なその日と綺麗に、花嫁の最高のシーンを彩る—



TEL.0763-82-0423 富山県南砺市北川1852 <http://www.salon-mitani.or.tv/>

□2003年全国美容技術大会花嫁化粧着付部門入賞